

開校 145 周年記念式典式辞

梅雨の晴れ間の青空が、すっかり夏色になった本日、千駄谷小学校開校 145 周年をめでたく迎えることができました。これもひとえに、本日お越しの地域の皆様、渋谷区、渋谷区教育委員会、PTAを始めとする保護者の皆様、そして、今まで本校の発展に力を尽くしてこられた教職員の皆様のお陰と心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、本校は今から 145 年前、明治 9 年 6 月 28 日に鳩の森神社の近くに開校し、今年で 145 年、145 歳になりました。人間では生きている人はいない年齢です。渋谷区の小学校でも一番の年上です。

145 年前にできた千駄谷小学校ですが、今の場所に移ってきたのは、明治 44 年、今から 110 年前です。その頃は、明治通りもオリンピック通りもなく、正門はプールの方にありました。かやのきは、そのころからあります。

それから、今年も千駄谷なかよし園の開園 10 周年です。なかよし園は 10 歳になりました。幼稚園は 49 年目ですが、あと 1 年で 50 歳なので、一緒にお祝いします。つまり、今年も、千駄谷小学校 145 周年、千駄谷なかよし園 10 周年、千駄谷幼稚園 50 周年の記念の年です。7 月 9 日にはみんなで記念の航空写真を撮るので楽しみにしてください。

さて、千駄谷小学校には「世界にはばたく千駄谷小学校」という合言葉があります。「世界にはばたく」とは、どういうことでしょうか。海外旅行に行くことではありません。今、世界にはばたいている人が大勢、皆さんの目の前にいます。毎日ニュースになっています。それはオリンピックやパラリンピックに出場する選手です。選手の皆さんは、努力に努力を重ね、厳しい大会を勝ち抜いて、日本の代表になって、世界を舞台に戦ってきます。

でも、世界といっても国だけではありません。経済の世界、政治の世界、料理の世界、芸能の世界、いろいろな世界があります。皆さんには、そのような世界で活躍できる人になってほしいと思います。そのためには、まず、得意なこと、好きなことを見つけて努力を続けることです。野球の世界で活躍したイチローさんも「好きなことはいくらでもできる」と言っています。もう見つけている人もいるかもしれませんが、まだ見付かっていない人は、これからいろいろなことに挑戦して、自分が打ち込めるものを見つけてください。

千駄谷小学校の子供たちが大きく世界にはばたくこと、そして、千駄谷小学校が 150 年、200 年と発展していくことを願って式辞といたします。